

| 令和2年度の取組と自己評価 | | | |
|----------------------------------|---|---|---|
| | 教育活動の目標・取組 | 重点目標と取組 | 目標達成度合い等 |
| <p>(1) 学校経営</p> <p>学校経営</p> | <p>○企画調整会議の機能を強化し、学校経営方針の理解浸透を図るとともに各分掌からの意見聴取などにより全教職員の経営参画を推進する。</p> <p>○計画的な仕事の進行管理により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。</p> <p>○校内研修や相互授業観察等とおして、教職員の高い専門性を維持し、資質・能力の向上を図る。</p> <p>◆企画調整会議の活性化 ◆課題解決に向けて課題の可視化と共有化の推進 ◆業務の無駄を省き、整理と縮減の推進 ◆適正な予算編成・執行、財務管理の徹底</p> | <p>▲企画調整会議の議題を速やかに分掌部会や教科会にて共有するように時間割を含めたスケジュール管理の徹底</p> <p>▲情報の共有化について、タイムラグを極力抑えるための電子データでのやり取りの推進</p> <p>▲行政系職員により適正な予算編成と執行などの財産管理及び安全な教育環境の維持・管理の徹底と学校経営を支える企画提案の積極的な取組推進</p> <p>▲学校全体で主体的で深い学びとなる授業やICT機器を活用した新たな学習指導の推進</p> | <p>・教職員の勤務時間外滞在時間前年比較マイナス10分</p> <p>・サービス事故案件0（体罰・個人情報管理など）【達成され】</p> <p>・校内研修の実施年6回以上【達成された】</p> <p>・全教職員による授業相互観察、一人3回以上の授業観察への参加【達成された】</p> <p>・一般需用費の支援センター利用率70%以上【達成されず】54%</p> <p>・一般需用費の予算執行率99%以上【達成された】99%</p> <p>・学校徴収金の未納率0%【達成されず】0.5%</p> |
| | <p>【成果と課題】</p> <p>企画調整会議を中心として組織的に課題解決に取り組むことができた。ライフ・ワーク・バランスの観点から業務の整理・縮減を推進したが、8月の本校舎移転作業や生徒補習時間の増加などにより滞在時間は増えてしまった。新校舎移転業務などで行政職員と教育職員の情報共有が進められた。</p> | | |
| <p>(2) 学習活動・進路活動</p> <p>学習活動</p> | <p>○教科ごとの組織的な生徒の学力向上を図る。○令和4年度から実施される次期学習指導要領に対応した教育課程を編成する。</p> <p>◆個々の教員の優れた取組を全員で共有 ◆3年間を見通した教科指導法の構築 ◆学習到達度を明確にした授業展開の推進</p> <p>◆教科主任を中心に生徒の学力を客観的に把握し、指導内容や指導方法の工夫改善の推進 ◆定期考査の共通問題の教科内相互点検によるケアレスミスの撲滅と教科内考査問題の共通化の推進</p> | <p>▲日常の学習を補うとともに、大学進学等の進路実現に向けた補習講習等の強化</p> <p>▲授業外での学習習慣の確立をめざし、各教科間で内容・分量・頻度などを調整しながら課題宿題等の積極的取組</p> <p>▲ICTを活用した授業や実験・実習により合理的でスピーディな授業の実施</p> <p>▲授業のチャイムスタート、チャイム終了の実施</p> <p>▲生徒の大学進学に向けた進路希望に対応できる教育課程の編成</p> | <p>・授業外学習時間一日60分以上の生徒割合50%以上【16% 達成できず】</p> <p>・本を読まない生徒の割合30%以下【52% 達成できず】</p> <p>・ICT等を活用した授業実践に取り組む教員80%以上【達成された】</p> <p>・生徒の授業満足度80以上【50% 達成できず】</p> |
| | <p>【成果と課題】</p> <p>授業外学習時間については、自習スペースの確保や放課後補修、寺子屋事業などにより増加傾向がみられた。ICTの活用については苦手な教員向けの研修会を実施し、活用が進められた。授業規律の観点からチャイム開始・終了はほぼ実現された。</p> <p>次年度は、引き続き生徒の学力向上に向けた授業改善の徹底や効果の上がった指導方法の共有化に取り組み、放課後補習講習の実施を推進していく。</p> | | |
| <p>進路活動</p> | <p>○生徒の個性や能力に応じた主体的な進路選択が行われるよう、進路情報を適切に提供する。</p> <p>○実社会で役に立つ資格・検定の取得を推進する。</p> <p>◆地域の人材を活用した交流等を通し、生徒の勤労観を育成 ◆生徒に自分の役割や責任を果たすことにより人の役に立つ喜びを体得させ、自己肯定感を育ませる ◆日頃から生徒への声掛けなどにより、計画的に英検・漢検を中心とした資格取得に意欲をもたせる</p> | <p>▲資格取得に向けた取組の推進</p> <p>▲進路情報の収集・共有を図り、全教職員が進路指導の方向性を揃える</p> <p>▲生徒の個性や能力に応じた進路選択を支援</p> <p>▲学力の推移データ等の蓄積による個人カルテ作成や模試分析会等の実施による組織的進路指導</p> | <p>・検定試験による資格取得者300名以上</p> <p>・センター試験受験者30名以上、国公立大学への挑戦及び合格1名以上、GMARCH級1名、日東駒専級私立大学合格10名以上【達成できず】</p> <p>・進路だよりを毎月1回以上発行【達成された】</p> <p>・進路決定率100%【98.9%達成されず】</p> |

| | | | |
|-----------------------------|---|---|---|
| | | <p>【成果と課題】</p> <p>英語検定・漢字検定の全員受験などを実施し、学校全体で資格取得を推進した。また進路説明会・分野別説明会等、広く上級学校から講師を招いてキャリア教育を推進した。進路については昨年同様安全策に流れる傾向があり、専門学校やランクを落としたAO、推薦入試に流れた。MARCH級や日東駒専級の大学に挑戦できるよう、引き続き生徒の学力向上に向け全体制で推進していく。</p> | |
| <p>(3) 生活指導</p> <p>生活指導</p> | <p>○生徒に寄り添い向き合う指導を通して、生徒の公共心・道徳心を育み、自律的な生活態度の育成を図る。</p> <p>○他人を思いやるとともに自分自身も大切にできる人間性を醸成する。</p> <p>○校舎内、学校敷地・校舎周辺の環境美化を徹底する。</p> <p>◆ルールやマナーの定着にむけた指導の徹底（挨拶・身だしなみ） ◆校内美化活動の徹底 ◆近隣地域の清掃活動を通じて環境美化を推進 ◆ボランティア活動の推進 ◆他の生徒の模範となる行動をとった生徒の表彰</p> | <p>▲暴力・いじめ・窃盗等の問題行動に対する厳格な対応により生徒が安心して生活できる安全な学校の提供</p> <p>▲遅刻をしない、約束を守る生徒の育成</p> <p>▲生徒会活動等が充実するような積極的な支援</p> <p>▲生徒の個性を尊重し、生徒自身が相互に高め合う集団作りの推進により、自主的・自律的な生活態度の育成</p> <p>▲校内、校舎内周辺の美化活動による生活環境の改善</p> <p>▲地域と連携した清掃活動に積極的に取組み、地域貢献意識の定着</p> | <p>・遅刻者延べ回数5000以下【達成された】4014</p> <p>・特別指導による退学者0名【達成された】</p> <p>・いじめ防止、自殺防止の取組の肯定的評価80%以上【66%達成されず】</p> <p>・チャイム着席の徹底100%</p> <p>・「時に厳しいが自分のためを思って指導してくれている」への生徒肯定的評価80%以上</p> <p>・「学校は生徒の相談に気軽に丁寧に応じている」の肯定評価80%以上</p> |
| | <p>【成果と課題】</p> <p>社会の現状を理解しモラルの高い行動をとる生徒がいる一方で新型コロナ感染防止に係る自粛行動が甘いも多くみられる。引き続きマナー・モラル教育を強化し、社会常識を身に付けさせ、生徒の健全育成を推進していく。</p> | | |
| <p>健康づくり</p> | <p>○生徒が生涯健康で充実した生活を過ごすための基礎知識と体力向上ための習慣を身に付けさせる。</p> <p>○個々の生徒に応じた指導・支援を充実させる。</p> <p>◆合理的な配慮を必要とする生徒への支援</p> <p>◆生徒がカウンセリングや相談しやすい体制の構築</p> <p>◆相談しやすい相談室・保健室づくり</p> <p>◆多摩桜の丘学園、スクールカウンセラー、ユース所「シャルワーカー」と連携し、配慮が必要な生徒のケアを実施</p> | <p>▲生徒の心身の健康づくりのための相談・支援体制の強化</p> <p>▲全教職員による保健・衛生管理を徹底させ、生涯にわたる健康維持・増進に必要な基礎知識や習慣の育成</p> <p>▲オリンピック・パラリンピック教育の推進による国際理解やスポーツへの興味・関心の増幅</p> | <p>・保健だより年6回以上発行【達成された】</p> <p>・保健に関わる研修会を1回以上実施【達成された】</p> <p>・体力テストによる全生徒平均値の前年比1.1倍以上【達成されず】1.02倍</p> <p>・カウンセラーによる第一学年生徒全員面接の実施【達成された】</p> <p>・特別支援、教育相談に関する会議を年3回以上開催する。【達成された】</p> |
| | <p>【成果と課題】</p> <p>自立支援チームの指導を受けながら生徒が相談しやすい環境を作り、カウンセラーへの相談のハードルを下げた。そのことにより、悩みを抱えている生徒に対して支援できる体制を整えることができた。</p> <p>引き続き組織的に生徒への支援体制を強化していく。</p> | | |
| <p>(4) 特別活動</p> <p>特別指導</p> | <p>○学校行事のねらいを達成し、文化・芸術・運動等に生涯にわたり親しむ素地を培う。</p> <p>○部活動の積極的な取組を奨励し、心身の健康を増進させるとともに文化教養を高めさせる。</p> <p>◆防災に係る活動の推進</p> <p>◆体育活動に親しむ行事の実施と体力の向上</p> <p>◆公式戦の参加奨励</p> <p>◆公的発表会等への参加の奨励</p> <p>◆読書活動等の取組強化</p> | <p>▲共に行事に取り組んだ仲間との絆を深め、達成感を体感させる</p> <p>▲生徒自身の自尊感情を高め、生徒の健全な心身の育成</p> <p>▲体育祭・文化祭の質と安全面の向上</p> <p>▲部活動の参加推進</p> <p>▲事故の未然防止と事故発生時の適切かつ迅速な対応の徹底</p> | <p>・一年生の年度末部活動加入率80%以上【51%達成されず】</p> <p>・体育祭、文化祭に積極的に参加の生徒90%以上【体育祭・文化祭ともに全校での開催を中止した】</p> |

| | | | | |
|---------------------|-------------|---|---|--|
| | | <p>【成果と課題】 新型コロナウイルス感染防止対策にともない、体育祭・文化祭など、全校開催を断念した。部活動についても活動が制限され、加入率の低下につながった。 そのような状況の中でも生徒は熱心に取り組んでいる姿が見られた。次年度に向けて生徒のモチベーションの維持に注力したい。</p> | | |
| <p>(5) 地域貢献</p> | <p>地域貢献</p> | <p>○学校の人的・物的財産を広く地域住民に公開し、地域での社会の体育・文化活動の拠点としての役割を果たす。 ○近隣の小・中学校との交流を活発化させ、地域から信頼される学校づくりを推進する。 ◆ボランティア活動への参加奨励 ◆近隣学校等との交流活動の推進</p> | <p>▲多摩市教育委員会や近隣等との連携の強化 ▲生徒の自発的なボランティア活動を部活動部員中心の取組から生徒会を中心とした全校生徒の取組へ規模拡大 ▲地域行事の参加、地域清掃活動の実施</p> | <p>・地域間連携（出前授業・合同部活動等）年間15回以上 【新型コロナウイルス感染防止の影響から出前授業や母校へのお手紙、地域ボランティアを実施した】</p> |
| | | <p>【成果と課題】 生徒がメインのイベントは新型コロナウイルス感染防止の観点から相次いで中止となった。状況が改善されたら積極的に生徒参加を奨励し、本校生徒の活動を地域に向けて発信していきたい。</p> | | |
| <p>(6) 広報活動</p> | <p>広報活動</p> | <p>○ホームページなどを活用し、日常的に中学生やその保護者に学校の魅力をアピールするとともに、学校説明会等により本校の取組状況を伝え、本校で学ぶ魅力をアピールする。 ◆行事・部活動等の教育活動の積極的な情報発信 ◆内容と鮮度を重視した情報発信 ◆中学校等への広報活動、体験授業等の実施</p> | <p>▲学校説明会・学校見学会などの工夫や分析調査、ホームページの一層の充実による本校で学ぶ良さをアピール強化 ▲入学選抜における高倍率の獲得 ▲多摩市を中心として近隣中学校訪問の強化及び京王線・小田急線沿線地区へのアピール訪問の拡大</p> | <p>・学校のウェブページ更新回数 200回以上 【達成した】 ・入試倍率 推薦 2.0 倍以上 一般 1.2 倍以上 【達成した】 ・生徒による中学校訪問 新型コロナウイルス感染防止の影響から文書送付のみとなった</p> |
| | | <p>【成果と課題】 新型コロナウイルス感染防止の影響から、規模を縮小して近隣中学校への訪問を実施した。広報活動として最も効果の上がる体育祭・文化祭の全校開催が見送られたが、学年規模での開催の様子を学校説明会にて映像で紹介した。 中学生及びその保護者への説明会も三密を避ける必要性から規模を縮小せざる負えない状況であったが、説明会参加者からはよい評価を得た。そのため受検倍率も前年比増加となった。</p> | | |